

## 復刻・さつもの綿 さつま机布 (Satsuma table wear)

■サイズ：1枚約230g 巾45cm×長さ90cm  
■価格：12,960円(税込)～



取材協力  
まさき織物

〒890-0072 鹿兒島市新栄町17-22  
【電話】099-202-0530 【FAX】099-252-7827  
【メールアドレス】m.nagaosa@gmail.com



鹿兒島産の草木から取り出した染料で繰り返し糸を染め、色を定着させる。



自社の綿畑。無農薬で栽培している。



「今後、デニムやカバンなど新しい商品づくりを展開する予定です」と話す永長さん。

およそ150年前、薩摩藩が力を入れていたのは船の帆布製作で、雨風に負けない丈夫な生地を作っていました。薩摩藩の先進的な技術を視察に来た土佐藩の今井貞吉は、島津斉彬から帆布を贈られ、それを机布として使用したといわれています。

以前から「日本の近代紡績発祥の地である鹿兒島らしい商品を作りたい」と考えていた私は、このことを知り、長年培ってきた大島紬の技術を生かしてその机布を再現しようと、商品開発を始めました。

難しかったのは、生地づくり。

現在、日本製の綿生地を作ることはかなり稀になっていますが、この机布に使っている材料は主に鹿兒島産です。綿の栽培から紡績、草木染、織りまでの工程を全て自社で行っています。また、当時の生地は無地でしたが、鹿兒島の伝統的工芸品である大島紬の染めや柄組みの技術を使って、デザインをアレンジしました。

幕末の名君 島津斉彬が藩内で製作していた船の帆布をモデルに、県産の綿と草木染にこだわり、本場大島紬の技術を加えたマルチクロス。製造・販売するまさき織物の代表 永長正樹さんに商品開発のきっかけなどについて伺いました。

尚古集成館に收藏されている帆布を実際に見て、触れて、資料だけでは分からなかった糸の太さや織り方をようやく知ることができました。

### プレゼントコーナー



### 大島紬の巾着ポーチを2名様にプレゼント

応募締切 平成30年6月29日(金)

応募方法 ハガキ、FAX、または電子メールに①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号を記入の上、右記までお送りください。

ハガキ先 〒890-8577 鹿兒島市鴨池新町10-1  
鹿兒島県広報課  
「グラフかごしま5月号プレゼント係」  
FAX 099-286-2119  
件名は「グラフかごしま5月号プレゼント」  
メール h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp  
件名は「グラフかごしま5月号プレゼント」

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

広告



県産品総合展示販売場「鹿兒島ブランドショップ」(県産業会館1階)



かごしまの県産品をどうぞ!

「明治維新150周年記念」関連商品フェア

県内の特産品の  
問い合わせ、ご用命は 鹿兒島ブランドショップへ

公益社団法人 鹿兒島県特産品協会

〒892-0821 鹿兒島市名山町9-1 鹿兒島県産業会館

TEL: 099-225-6120 ○定休日 年末・年始

FAX: 099-223-0755 ○営業時間 午前9時～午後6時

【東京店】〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル3F

TEL: 03-3506-9171 ○定休日 年末・年始

FAX: 03-3506-9172 ○営業時間 午前10時～午後6時

【特産品協会ホームページURL】<http://www.k-p-a.jp>

県特産品ショッピングモール [ここよかねっと](#) [検索](#)

好評  
開催中!



●山形屋 ●南日本銀行  
●山形屋 立体駐車場 ●鹿兒島信用金庫  
県産業  
会館